

令和5年度 自己振り返り反省

令和5年度は次の5段で自己の振り返りを行った。

- S：大変よくできている 150%以上
- A：よくできている 110%~140%
- B：できている（ほぼできている）100%~70%**
- C：あまりできていない 60%~50%
- D：できていない 50%以下

「自己振り返り」では全職員が全ての項目で「B：できている」をつけられるよう、また「C：あまりできていない」「D：できていない」が無いようにすることを目標としている。

また「S：大変できている」「A：よくできている」は自身の得意とする項目を頑張るよう、また上席としてはそれを認めるように意識している。

今回の振り返りでも殆どの職員は「B：できている」をつけており、総合評価としても全職員が「B：できている」だった。また上席としても当園保育士として概ねのことはできていると思っている。

また今年の目標として「**職員の主体性**」に重きを置いた。

子どもの主体性を育むことはもちろんであるが、それを実施するためには保育者の主体性も大事と考える。それぞれの職員がそのことについて、とても意識をして過ごしたように思う。

自身のクラス以外に園全体の行事の改善や、異年齢間での交流など、積極的に新しいことを進めていた。振り返り項目としては「向上心・行動力・創意工夫」の中に入ってくるが、上席が「A：よくできている」を付けた職員が増えた。

- ① 等々力緑地や多摩川といった自然環境を生かしながら…
 - ・遊びや生活の中で「感じる力」「考える力」を伸ばし、「表現できる」ようになる。
 - ・遊びや生活の中で「元気な体」を育み体力を付ける。
- ② 保護者と連携して育児の喜びと苦勞をともにする。

上記当園の保育目標①は周辺の自然環境を生かしながら十分に行っていると思われる。

昨年度もしっかりと行っていたが、最近は子ども達の声で園外に出ることが多くなった。

例えば大人の感覚ではほぼ溶けた雪では遊べないと思っていたら、子ども達にはそれは全く関係なく外で遊ぶことを選んだ。しっかりと自然を遊び道具としてとらえている。

②の目標は保護者と連携して子育ての苦樂をともに感じる事ができたのではないかと思います。

昨年度まで3叶禍ということで園内を見せる機会が少なかったり、行事も縮小状態にあったため、保育がよく見えずに保護者の不安が大きかったように思う。

今年度は保育参加や保育公開を積極的に行ったり、様々な行事を復活してお手伝いをしてもらうなど、園の中にたくさん入ってもらうようにした。その甲斐もあり保育者と保護者の信頼関係も深まったように思う。